

特別号

～夢と希望のわが母校～

【本校の教育目標】



春風小だより

- 元気な子
- 思いやる子
- ◎ 考える子



R8. 3. 11

練馬区立光が丘春の風小学校 校長 内木 勉

春風ちゃん

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1 Tel 3976-5861 Fax 5383-3592

令和7年度 学校評価まとめ

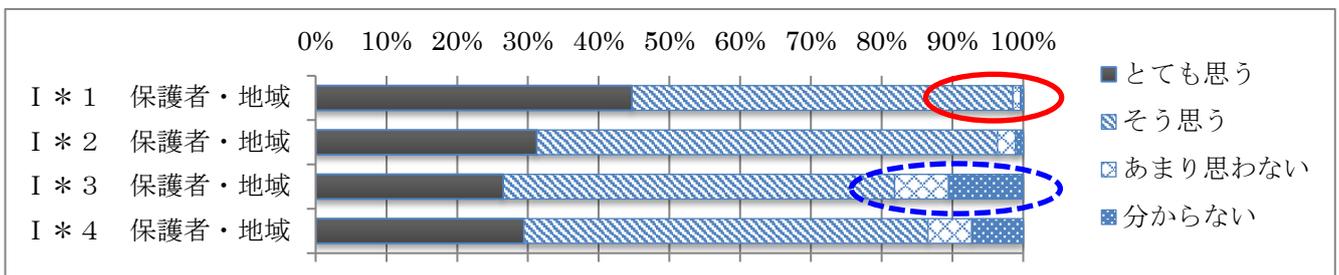
今年度も本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。学校評価においてご意見をいただいたことを令和8年度の教育課程の編成に生かし、教育活動の充実に努めてまいります。

グラフの○は、本校の特色と考えられる部分で成果として捉えています。○は、課題として捉えている部分であり、今後改善に向けて取り組んでまいります。

【保護者・地域向け】

家庭数 275

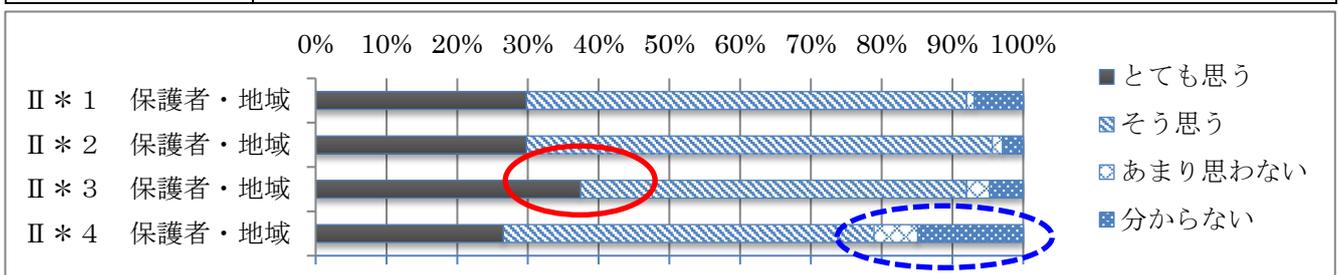
I 教育活動全般について	
I * 1	子供たちは、楽しい学校生活を過ごしている
I * 2	学校の施設、設備等の教育環境が整備されている
I * 3	子供についての悩みや相談をよく受け止めている
I * 4	I C T機器（タブレットなど）を活用した授業を行っている



< I * 1 > 98%の方々が肯定的に捉えてくださっている。引き続き、学校での学習・生活を充実させ、「とても思う」と感じる児童を増やせるよう教育活動に取り組んでいく。

< I * 3 > 肯定的な評価が8割以上となっているが、あまり思わないと感じている方も多い。担任だけでなく、学年、養護教諭、管理職、支援員など組織的に児童を見守り、積極的に声をかける体制を一層推進していく。引き続き、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、別室登校支援員との連携を図っていく。

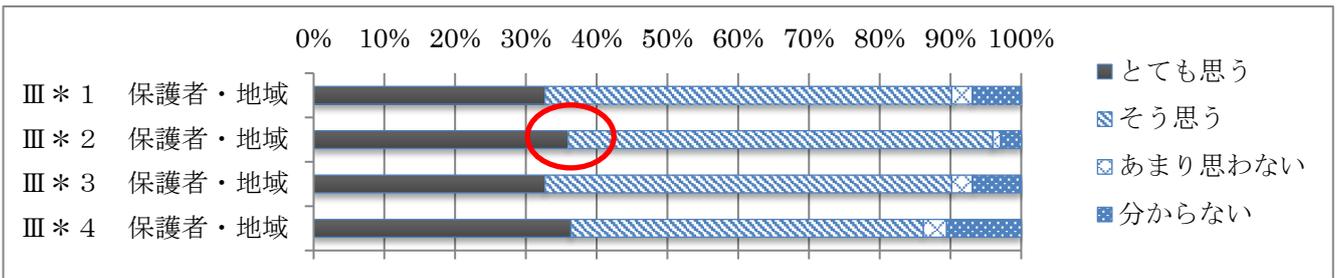
II 学習指導・学力向上について	
II * 1	学校は、楽しく分かりやすい授業を工夫している
II * 2	学校は、子供に学年に応じた学力を身に付けさせている
II * 3	学校は、学習形態の工夫（算数少人数指導やチームティーチング等）に取り組んでいる
II * 4	学校は、教師以外の人材とも協力した授業を工夫している



<Ⅱ*3> 3年生以上の算数では少人数指導に取り組むことができている。しかし、学年によって1クラスの人数は多い。少人数に限らず、基礎的・基本的な学力の向上を図るとともに、学年に応じた主体的・対話的で深い学びとなる学習を展開し、確かな学力を身に付けられるよう指導を工夫していく。

<Ⅱ*4> 外部講師を招いて学習する機会は設定しているが、効果を実感できる学びになるよう工夫していく必要がある。また、機会としてももう少し増やしていく。

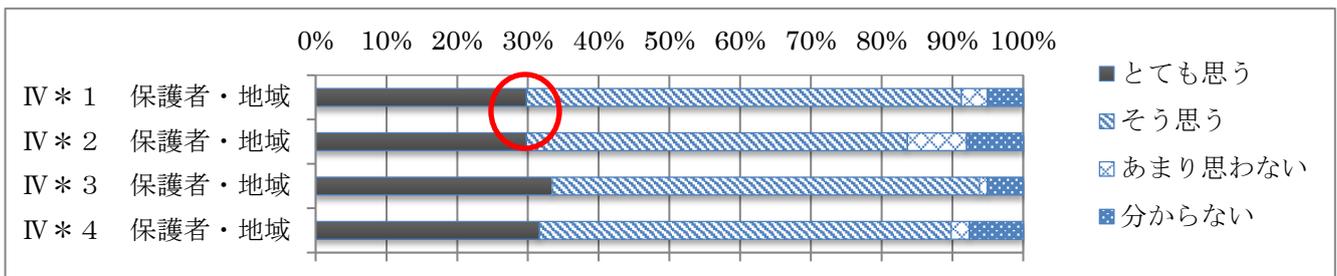
Ⅲ 社会性や人間性の育成について	
Ⅲ*1	学校は、挨拶や言葉遣い等の基本的な生活習慣が身に付くように指導している
Ⅲ*2	学校は、道徳授業や日常生活を通して思いやり等、「心の教育」に努めている
Ⅲ*3	学校は、行事や生活指導等を通して集団のルールや規範意識を育てている
Ⅲ*4	学校は、特別な配慮（日本語指導、体調、行きしぶりなど）を行うよう努めている



<Ⅲ*2> 昨年度より「とても思う」が7ポイント上昇した。授業、生活指導だけでなくすべての教育活動で「心の教育」に努めていく。

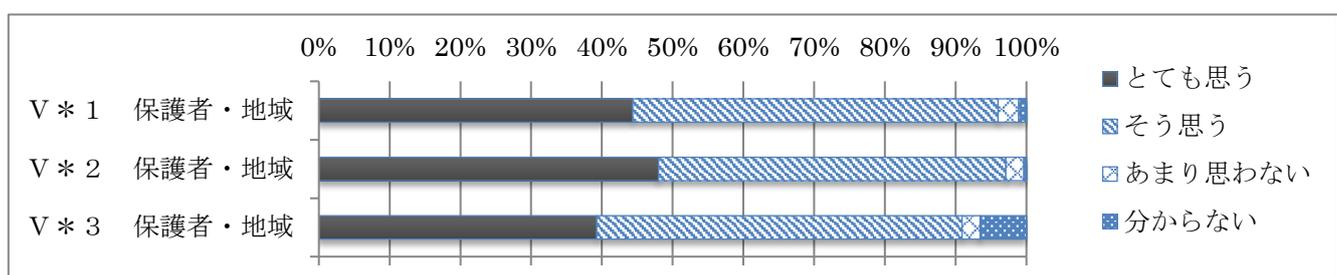
<Ⅲ*4> 今年度追加項目。今後重点項目として学校全体として取り組んでいく。

Ⅳ 健康安全指導や体力の向上について	
Ⅳ*1	学校は、体育の授業の充実や体力づくりの取組に努めている
Ⅳ*2	学校は、進んで運動したり、外遊びをしたりする子供を育てている
Ⅳ*3	学校は、子供たちに健康や安全についての指導を適切に行っている
Ⅳ*4	学校は、感染症対策に取り組んでいる。



<Ⅳ*1> 昨年度より「とても思う」が5ポイント増加。今年度の体力調査でも分かったように、体力については全国・東京都の平均を下回る状況である。引き続き体育の授業の工夫や休み時間の運動の工夫に取り組んでいく。

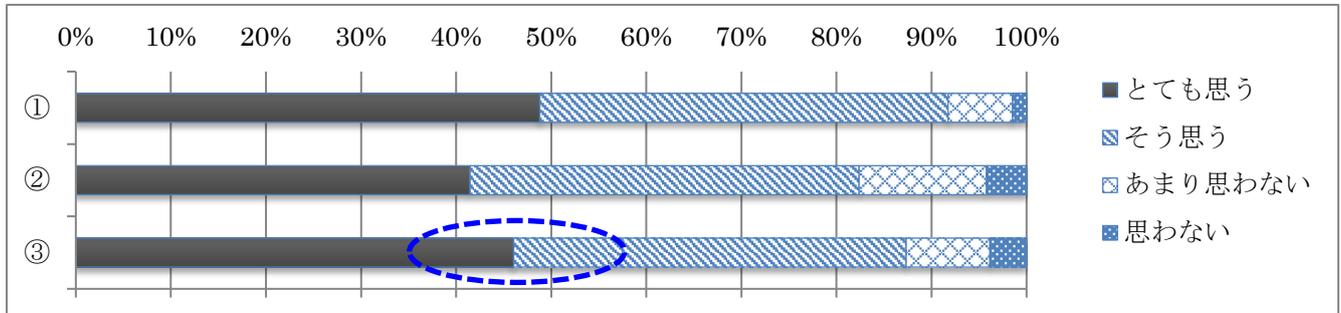
Ⅴ 保護者・地域との連携について	
V*1	授業公開や学校行事、保護者会等、学校を知る機会が十分ある
V*2	学校は、各種便り、Sigfy、HP等で教育活動を分かりやすく伝えている
V*3	学校は、地域や保護者等とよく連携して教育活動を進めている



昨年度と同じ傾向。保護者の方々と日頃から情報共有をして、連携して教育活動にあたっていく。
地域に開かれた学校として、地域の方々にも教育活動に参加していただけるような機会を作っていく。

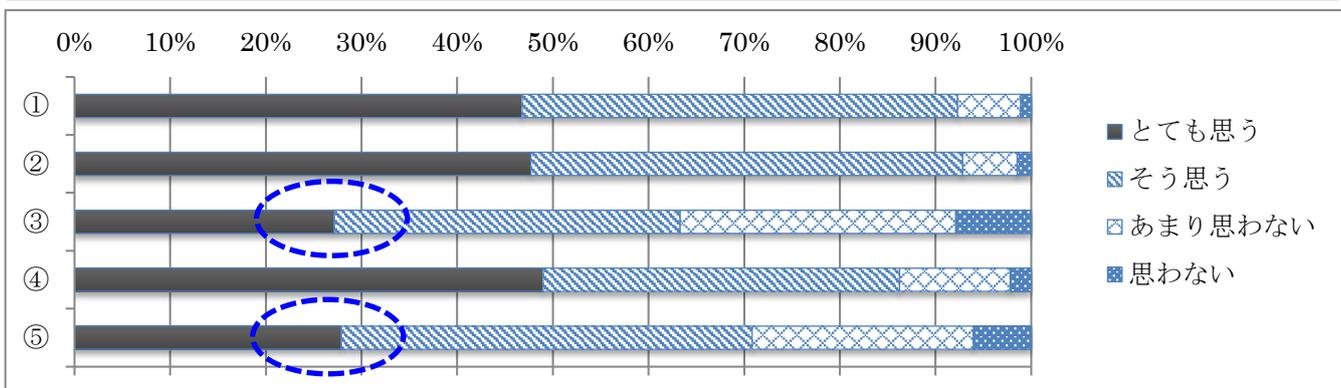
【児童向け】

I 教育活動全般について	
①	学校は楽しいですか
②	学校には、困った時に相談できる先生がいますか
③	タブレットを使おうとしていますか



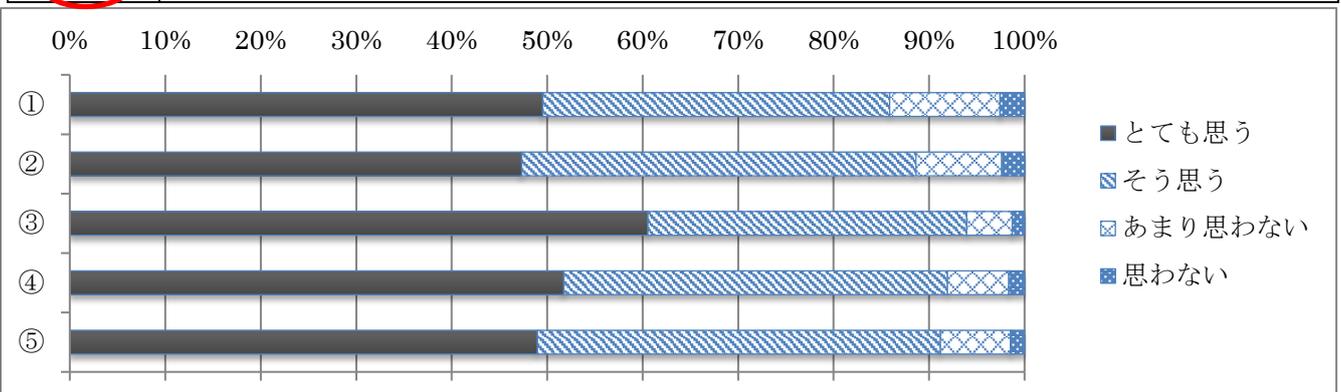
昨年度から大きな変化がなかった。③は減少傾向。タブレット利用が日常化してきている。

II 学習指導・学力向上について	
①	学校の勉強はよくわかりますか
②	先生の話や友達の発表をしっかりと聞いていますか
③	自分の考えや意見をすすんで発表していますか
④	何かを書いたり作ったりする時、丁寧にやっていますか
⑤	勉強がわからない時や困った時、先生にきちんと伝えていきますか



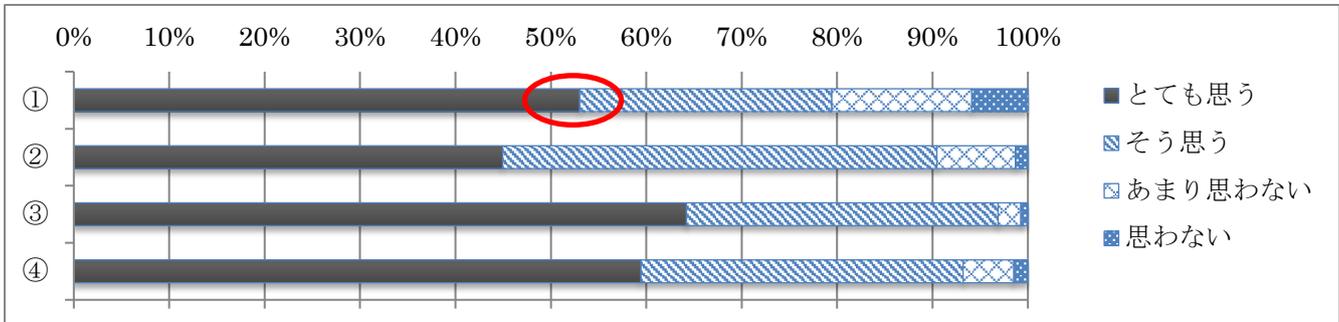
学習に意欲的に取り組む一方、③、⑤が相対的に低い傾向がある。⑤は昨年度より6ポイント減少。困ったときには安心して話せる環境づくり、すすんで意見交流できる児童の育成を目指していく。

III 社会性や人間性の育成について	
①	すすんで挨拶していますか
②	当番や係など自分の仕事を忘れずにやっていますか
③	仲間はずれをしないで、みんなと仲良くしていますか
④	学校のきまりやルールを守り、安全に生活していますか
⑤	さまざまな文化や考え方を大切にしていますか



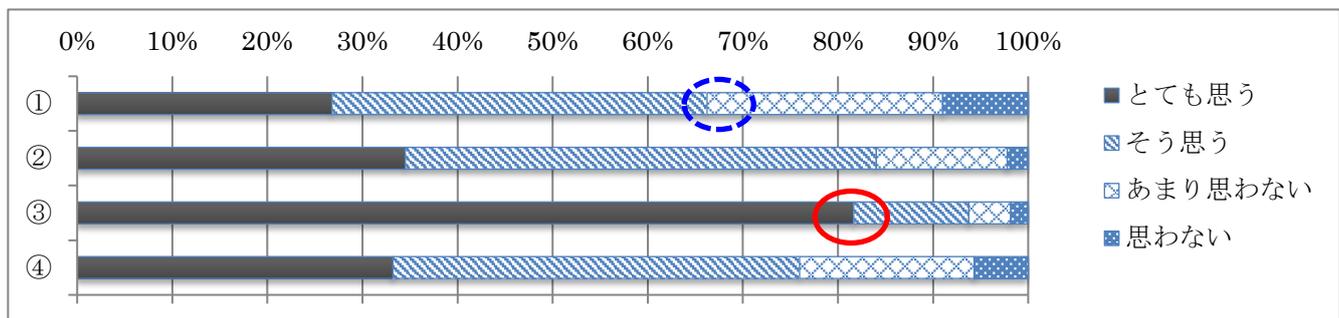
昨年度と同じ傾向。⑤は新設項目。外国籍児童も多い本校では今後重点的に取り組んでいく。

Ⅳ 健康安全指導や体力の向上について	
①	外で元気に遊んだり、すすんで運動したりしていますか
②	うがいや手洗いなど、清潔や健康に注意していますか
③	交通ルール（歩き方、自転車の乗り方など）を守っていますか
④	外での遊びの約束（遊び方、場所、帰る時刻など）を守っていますか



昨年度から大きな変化はなかったが、①は微増した。気候であったり、環境であったり、外遊びの機会は減少傾向なので意識的に体を動かすことを推奨していく。

Ⅴ 保護者・地域との連携について	
①	早寝早起きをしていますか
②	授業に使う物の準備を忘れずにできていますか
③	朝ご飯を毎日食べていますか
④	お手伝いや家の仕事をしていますか



①「そう思う」が4ポイント微減。③「とても思う」が3ポイント微増。食事・睡眠など生活リズムを整えることは、家庭との連携が不可欠である。また、お手伝いについてもその機会を作ったり、声掛けをしたりと家庭の協力が必要である。さまざまな場面で家庭との連携を深めていく。

《まとめ》

- ・98%の保護者の皆様が「楽しい学校生活を過ごしている」と肯定的に捉えてくださっていることは、教育活動の大きな成果である。学校での学習・生活を充実させ、「とても思う」と感じていただけるよう教育活動に取り組んでいく。課題として「子供の悩みや相談を受け止めている」「勉強がわからない時や困ったとき、先生にきちんと伝えている」という項目でそのように捉えていない保護者・児童が一定数いるということである。相談体制を整え、担任だけでなく、学年、養護教諭、管理職、学校生活支援員など組織的に児童を見守り、積極的に声を掛ける体制を一層推進し、安心して学校生活を送れるようにしていく。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員との連携はさらに強めていく。
- ・本校の現状として、外国籍児童の急激な増加に伴う日本語や多様性理解の指導の充実が喫緊の課題である。また、特別な配慮を要する児童も増加傾向である。そのため、学校評価で「学校は特別な配慮（日本語指導、体調、行きしぶりなど）を行うよう努めている」「さまざまな文化や考え方を大切にしている」という項目を追加した。今後は重点項目としてユニバーサルデザインの教育活動に取り組んでいく。
- ・児童用タブレット端末をはじめとするICT機器の活用について、児童が端末の操作に慣れ、教員の活用状況も向上した。しかし、さらなる課題として、児童の情報モラルの向上や、正しい利用方法の指導が必要であることがわかってきた。情報モラル教育の充実と学習用タブレットの正しい利用指導に努める。